

広報ぬまた Numata 11

広報ぬまた

2023.11.22

Vol.675

思い思いの仮装を楽しみました



10/28 HALLOWEEN EVENT 2023

今月の主な内容

- ★ HALLOWEEN EVENT 2023 2
- ★ フォトコンテスト 4
- ★ 中学生議会 6
- ★ まちレポ 8
- ★ 町民芸術祭 13
- ★ ESSEふるさとグラフィックで銀賞 . 14
- ★ 沼田警察庁舎から 15
- ★ 沼田消防から（消報） 16
- ★ ふれあいインフォ 17
- ★ 生涯学習ゆめつくる 18
- ★ 図書館バックヤード 19
- ★ まちの話題と人の動き 20



JRに乗り続け隊サポーターを募集しています！
JR留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。

■ お問い合わせ 産業創出課 ☎ 35-2155



ゆきものがかり HALLOWEEN EVENT 2023



まちなかほっとタウンで町内の地域おこしグループ「ゆきものがかり」(藤村健一会長)が主催する、「HALLOWEEN EVENT 2023 IN NUMATA」が10月28日(土)開催されました。

会場は、小学生や一般の方が作ったジャック・オー・ランタンが並び、ライトアップや装飾が施され、ハロウィンらしい幻想的な会場となっていました。

今年もランタンコンテストが行われ、入賞作品の出来栄えに来場者も魅了され写真を撮っていました。また、体が温まるかぼちゃスープの提供やスープ餃子の販売、子ども達がまちを練り歩きお菓子を集める「街ブラ」が行われるなど、衣装した子ども達や保護者の方で大いに賑わっていました。





小学生がジャック・オー・ランタン作り

沼田小学校の4年生から6年生がハロウィンイベントを前に地域おこしグループ「ゆきものがかり」のメンバーが指導する中、ハロウィン用のかぼちゃでジャック・オー・ランタンを作りました。

下書きしたかぼちゃに、のこぎりを慎重に使いながら目や口などをくり抜き、思い思いのジャック・オー・ランタンを見事に作り上げました。



▲ 6年生

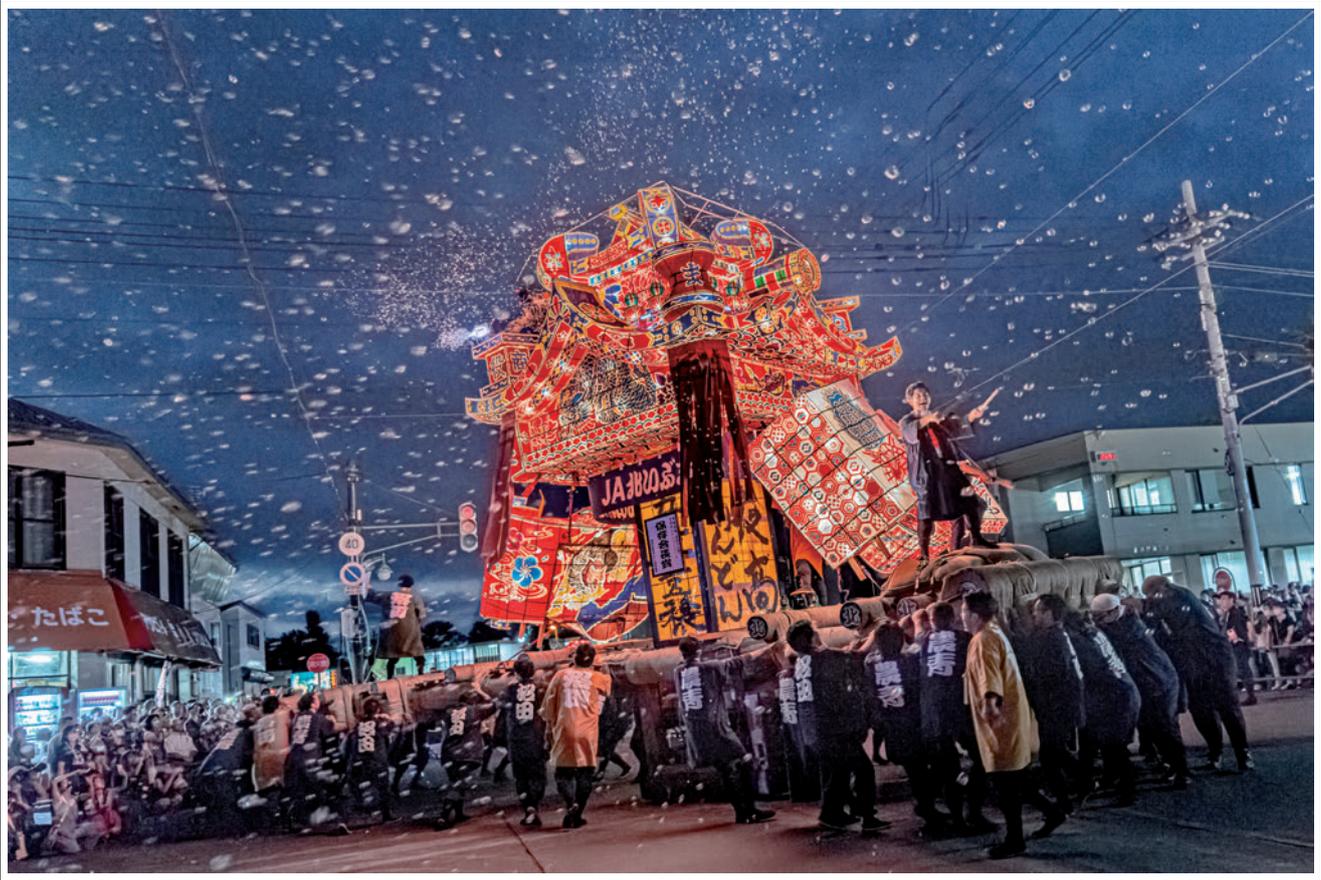


▲ 5年生



▲ 4年生

最優秀賞 夜高あんどん (神保 吉数 様 / 新ひだか町市)



優秀賞



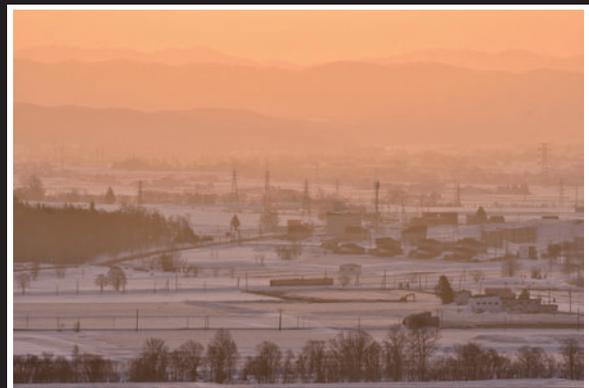
雪と共に (眞鍋 真弓 様 / 深川市)



祭りを奏でる女(ひと) (増井 道英 様 / 苫小牧市)

◆奨励賞◆

- 「厳寒の朝」(池端 清美 様 / 留萌市)
- 「晩秋」(池端 清美 様 / 留萌市)
- 「冬景色」(池端 清美 様 / 留萌市)
- 「霧氷」(池端 清美 様 / 留萌市)
- 「雪やコンコン」(池端 清美 様 / 留萌市)
- 「ホロピリ湖の夕焼け」(伊藤 文章 様 / 新十津川町)
- 「踊ろう!歌おう!」(岩間 敦子 様 / 札幌市)
- 「夏の日」(佐々木 真佐枝 様 / 旭川市)
- 「黄金色に染まる朝」(佐竹 輝昭 様 / 札幌市)
- 「よいやっさー!!」(龍川 悠平 様 / 留萌市)



ありがとう留萌本線部門
夜明け (池端 清美 様 / 留萌市)

第25回明日萌の里フォトコンテスト入賞作品

入選



ヌマスタグラム
(龍至 伸一 様/深川市)



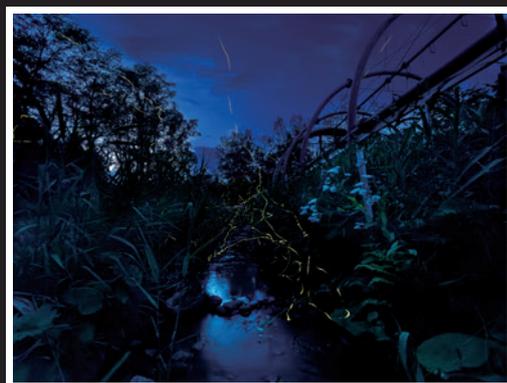
激突の時 (今井 昌 様/札幌市)



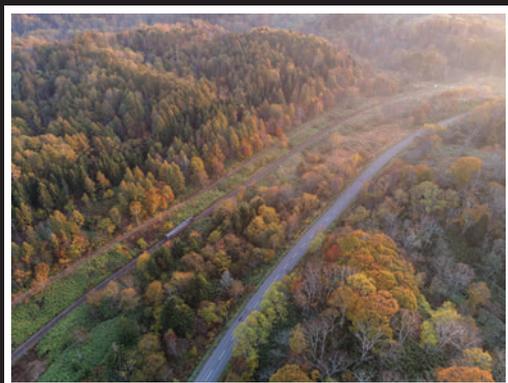
深々と (池端 清美 様/留萌市)



春の集い (龍川 悠平/留萌市)



せせらぎにほのかな灯りを
(木村 美紀枝 様/深川市)



ありがとう留萌本線部門
霧残る朝陽に導かれるように (最後の秋)
(敦賀 善敬 様/留萌市)



ありがとう留萌本線部門
惜別の情に別涙、沼田吹ガールズ
(川島 征行 様/深川市)

審査員講評〔抜粋〕

今回は節目となる25回目の「明日萌の里フォトコンテスト」となりました。
この節目となりますフォトコンテストの受賞者の皆様、大変おめでとうございます。
実は私が当フォトコンテストの審査を担当させていただくようになって、ちょうど10回目となりました。
振り返ってみますと、受賞者はもとより、エントリーされている方々の全体的なレベルがぐんと上がってきているように見受けられました。

「継続は力なり」と申すとおり、写真を撮り、プリントして、そしてこのようなコンテストに挑戦するというのは自分自身のレベルアップにも繋がっていると思います。

応募作品はコロナ明けということもあり、沼田町を代表するイベント「夜高あんどん祭り」の作品が数多くエントリーされました。

どの作品もレベルが高く、応募者はかなり手慣れた方々と拝察し、ピックアップするのに苦慮した次第です。
最近のデジタルカメラはその進化がめざましく、あんどん祭りなどの夜景もシャッターを押せば撮れるようになってきました。

写真は自己表現です。自分ならではの視点やカメラテクニックが必要です。
勇壮なお祭りなので、画面から飛び出すような動きや激しさが必要になってきます。

どのようなアングルで撮れば動いているように見えるのか、あるいは少しづらして撮るとか撮影テクニックを一工夫するとぐんと見る人の心をつかむと思います。

今までの入賞作品を見返えしたり、他の祭りの作品からヒントを見つけ出すのも良いと思います。そして自分自身の感性を磨くことが大切だと思います。

次回は26回目、心機一転、皆様の傑作をお待ちしております。

2023年10月27日

「明日萌の里フォトコンテスト」審査員代表 写真家 菊地 晴夫

町長に直接質問しました 中学生議会議

授業の中で学んでいた町議会について、実際の町議会議場で町長に質問をぶつける「中学生議会議」が沼田町議会議主催で、11月1日（水）役場3階議場で行われました。

沼田中学校3年生は、実際の町議会議のように調べてきた資料を町長に提示しながら質問し、町長は一つ一つ丁寧に回答していました。

■沼田町の人口問題について

鈴木沙和 議員

今後、人口減少に歯止めを掛けるために、若者が沼田町に住み続けたいと思うような魅力的な働き口を増やしてほしいです。

町長回答

「田舎暮らしの本（宝島社）」では住みたい田舎ランキング人口一万人未満のまちで5年連続の北海道一位、全国でも4つの全部門で1位となり、沼田町の知名度は徐々に上がってきていると思います。これは、住んでいる町民のみならず、このまちに誇りを持ち、様々なところで沼田町をPRしてくれているからです。

沼田町では、「子育て満足度日本一」を目指し、移住していただ

けるようにいろいろな取り組みを実施しておりますので、是非町のPRをよろしくお願いします。

また「魅力的な働き口」を増やすため、企業誘致活動や「ぬまわーくサポートデスク」という無料の職業紹介所を役場内に設置し、「地元に残り、頑張っていきたい人」や「沼田町に移住して生活をしていきたい人」をサポートする体制を取っています。

皆さんが「沼田町に残って町の発展に貢献したい」と思っていただけのようなまちづくりや「働いてみたいと思ってもらえるような働く場の創出」に全力で励んでいきたいと考えていますので、皆さんの応援とアイデアの提案をよろしくお願いします。

■不足する施設について

野田優心花 議員

友達や家族とワイワイできるようなミニ道の駅の設置や暮らしの安心センター内でのイベントや交流会を開いてほしいです。

町長回答

「道の駅」については、建設には多大な費用が必要であり、場所の問題や何よりお土産品や当地グルメなどの開発に取り組み必要があることから、すぐに設置というのは難しいですが必要な施設だと思っています。

その上でご質問にある「友達や家族とワイワイできるような場・イベントや交流会」という意味では、7月から11月まで毎月1回「沼ルシエ」という駅前イベントを開催したり、10月には沼田駅前や本通などを会場とした「秋のにぎわい産業まつり」を開催するなど、様々な行事を行っています。

また、暮らしの安心センターでは、多くの町民の方にお越しいただいている「みんなの食堂」などのイベントを継続的に開催しながら、町民の様々な年代との交流が



図れるような演奏発表会、キッチンカーなどによる食に関する飲食販売イベントなど、気軽に安心センターにお越しいただけるようなイベントを開催していきたいと考えております。

中学生の皆さんからもイベント開催について意見やアイデアをいただければと思いますのでよろしくお願ひします。

■体育施設の老朽化について

栗中 徠 議員

体育施設を全部作るの難しいので、まずは、中学校体育館の老朽化が激しいので最初に直してほしいです。

町長回答

町民体育館や中学校体育館は建設から50年以上経過しており、改築の必要性は理解しておりますが、現在の人口規模や町の予算に見合ったレベルの施設にしなければいけないと考えています。

2つの体育館を別々に建て替えて、新たな施設を建設することは難しく、より多くの町民の要望に合うものになるような視点から考えてベストな選択をしなければいけないと考えています。

体育館の改築にはもう少し時間が必要なのでその間、修理が必要な箇所は支障のないように対応し

ていきます。

また、暮らしの安心センターにあるトレーニング機器の利用やその他、様々なスポーツ施設も含め、活用し、運動能力を高めていただけたらありがたいです。

今後も色々な利用の仕方やより使いこなすためのアイデア・手法などもありましたら提案いただきたいと思っています。

■福祉の拡充について

大山 凛人 議員

介護士の負担を減らすために沼田町全体で助け合いながら生活していつてほしい。介護士には、若手の人材と男性の人材が少ないので介護士を多く雇ってほしいです。

町長回答

介護士の仕事は、自宅や施設で生活する高齢者の方々の身の回りのことを支えるために、町内の様々な場所で活躍をしています。「はあとふる沼田」という事業

では近所の高齢者の方々にに対し、そつと声を掛けたり手助けに繋がるような「気付き」が生まれ、その「気付き」の中で、病気や介護の予防・早期発見をする事により、人手不足の介護士の仕事の負担も軽減できると思います。

また、介護士の技術の向上や知

識の向上のため研修を行い、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。

更に、町内の高齢者施設ではICTの導入により、WiFiを整備し、見守り機能の強化や介護職員の仕事の負担軽減を図るため介護補助ロボット等を導入しながら、利用する高齢者が快適で、介護士の負担が軽減できるように、業務の効率化にも着手しています。

興味がある方は、ぜひ介護の仕事を見学に来て、介護、福祉の仕事に興味を持っていただき、将来介護士としてこの町で働いてくれることを願っています。



■中学校に必要なもの

塩田 禅 議員

エレベーターを設置することは難しいと思いますが、WiFiの増設などは今後、学習活動をしていく中で不便だと感じる場合があると思うので早めに直してほしいです。

町長回答

エレベーターのご要望は昨年もありましたが、昨年の要望の中から優先すべきはエアコンと判断し、まずはエアコンを整備させていただきました。

中学校のWiFiは平成24年から整備しており、令和元年度にはさらに改修を行っていますが、令和2年度にGIGAスクール構想が本格的にスタートし、また同じ時期に新型コロナウイルスが流行したこともあり、一人一台端末の実現が加速しました。

ICTは、日進月歩で進化しており、情報化の急速な進展もあり、データ通信量や接続台数が増えていることが要因で動作が遅いと思われる場合があります。

現在、調査していますので、早急に対策を講じたいと思います。

10/ 交通安全を呼びかけ

12 ライオンズクラブ交通安全旗の波運動

沼田ライオンズクラブ（高橋節男会長）と沼田自動車学校（宮脇浩三校長）、深川警察署沼田警察庁舎（三輪昌広所長）が沼田小学校前の国道275号線で交通安全街頭啓発活動を行いました。

参加された22名は「スピードダウン」や「シートベルト着用」と書かれた旗を持ち、走行する車へ安全運転を呼びかけました。



10/ 自己研鑽のために

14 第23・24回北海道 ITLS ACCESS

現場における評価から患者搬送まで系統立てた活動と最低限の資機材を使用して効率よく、迅速に救助することを目的とした交通事故に特化した救急・外傷・交通救助訓練を道内各地から集まった消防職員等16名の参加により、10月14日（土）、15日（日）の2日間、宿泊交流センター「夢未来」で開催されました。

午前中は救助と救急に関する講義、午後からは講義に基づいた実車を使用しての車両破壊を含む要救助者の救出訓練や傷病者への必要な措置、救助の優先順位を決定するトリアージなどを学びました。



10/ ネズミイルカの昔と今を比較

15 化石体験館開館15周年記念講演会

化石体験館が開館15周年を迎えたのを記念し「むかしといまのネズミイルカまみれ」と題し、ほろしん温泉ほたる館で講演会を開催しました。

福井県立恐竜博物館の一島啓人氏が化石のネズミイルカについて、おたる水族館の角川雅俊氏が現在のネズミイルカについて講演をいただき、昔と今のネズミイルカの違いについて、参加された町内外の参加者約30名が聞き入っていました。

また、会場には普段は見ることのできない道天然記念物指定を受けたヌマタネズミイルカの実物化石や昨年クラウドファンディングを行い、制作した復元骨格も初公開されました。



10/ **夜間の交通事故防止を呼びかけ**

17 旭町サロンでの交通安全啓発活動

深川地域交通安全活動推進委員協議会（1市5町）と深川警察署が共同で10月17日（火）「旭町サロン」にて交通事故防止の啓発活動が行われました。

夕方や夜間など歩行者が見えづらい時間帯における交通事故防止を呼びかけ、参加された方のカバンに夜光反射材を取り付け、車両から気づいてもらうための対策を講じていただきました。

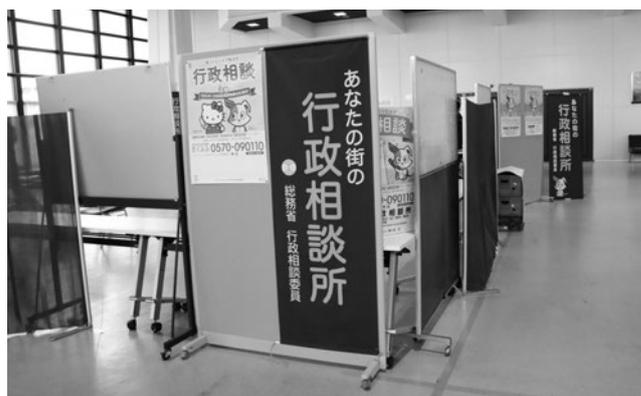


10/ **国への困りごと相談**

20 特設行政相談所を開設しました

「総務省行政相談週間」（10月16日（月）から22日（日））に合わせて、10月20日（金）町民会館で特設行政相談所が開かれました。

今回の行政相談所には、特別に役場各課の職員も出席し、町の行政相談委員と国の仕事や行政サービスなどについてのお困りごとや相談などに応じました。



10/ **正しい食習慣を**

25 中学校食育教室

沼田町食生活改善協議会（生沼流美子会長）が10月25日（水）沼田中学校3年生を対象に食育教室を行いました。

これは、近い将来の自立した生活に備え、正しい食習慣と基本的な調理技術を学び、食への興味関心を高めてもらうことを目的として実施され、「おにぎらず」や「肉巻きおさつ」などを班ごとに分かれて、味付けや盛り付け方など、相談しながら調理しました。



10/27 有事の際に備えた 国民保護共同訓練

町が国、北海道と共同で主催した他国から発射されたミサイルが北海道を通過することを想定した国民保護共同訓練を10月27日（金）実施し、住民や消防団員等153名が参加されました。

午前中は、防災担当職員を対象としたミサイル発射情報が発信された後の初動対処訓練を行い、町民から問い合わせ対応などについて訓練を行いました。

午後からは、健康福祉総合センター「ふれあい」前において、深川地区消防組合沼田消防団（小西克典団長）による消防総合訓練が行われ、観覧している最中に、全国瞬時警報システム（Jアラート）が起動しミサイルの発射が伝えられ、住民は「ふれあい」内に避難しました。

本訓練の講評で横山町長は「今日の訓練を家族の方や近所の方へ共有しより防災意識を高め、有事の際は、落ち着いて行動していただきたい」と述べられました。



10/29 合同演奏会に向けて 北海道警察音楽隊事前合同練習

北海道警察音楽隊の隊員9名が10月29日（日）沼田中学校を訪れ、11月3日に行われる北海道警察音楽隊演奏会での合同演奏を前に吹奏楽部員9名へ演奏指導を行いました。

生徒たちは各パートに分かれ、合同演奏する曲を練習し、演奏のコツや、気を付ける点などを確認しながら、それぞれの楽器を練習しました。

南茂柾哉部長は「苦戦していた箇所を教えてくださいありがとうございました。本番もよろしくお願ひします」と感謝の言葉を伝えました。



11/3 交通事故死ゼロ4000日達成を記念して 北海道警察音楽隊演奏会

北海道警察音楽隊とカラーガード隊、沼田中学校吹奏楽部が11月3日（金・祝）町民会館で合同演奏会を開催されました。

この合同演奏会は、今年6月21日に交通事故死ゼロ4000日を達成したことを記念し、沼田町交通安全町民大会の前に開催され、歌謡曲からジャズなど様々な曲を沼田中学校吹奏楽部と息の合った演奏が披露されたほか、カラーガード隊によるドリル演奏が行われ、会場は大きな拍手に包まれました。



11 / 3 交通事故のない町を目指して 沼田町交通安全町民大会

沼田町、沼田町交通安全運動推進委員会、沼田町交通安全協会が主催する交通安全町民大会が11月3日（金・祝）町民会館で開催されました。

開会にあたり横山町長は「今年交通事故死ゼロ4000日を達成できたのは、各機関と町民皆さまの日頃からの交通安全への取組のおかげです。」と挨拶され、大会では、こども園や小学生を対象の交通安全標語・ポスターの表彰が行われ、入賞者には町交通安全協会長の坂本久和氏より賞状が手渡されました。

表彰式終了後、深川警察署の上村健太郎交通課長から交通事故の危険性について講演していただき、最後に木村拓哉商工会青年部長による交通安全宣言が行われ、交通事故のない町を目指して交通安全に対する意識を参加者で再確認しました。



11 / 4 一生懸命応援しました 北海道イエロースターズ開幕戦を観戦

今年9月に包括連携協定を結んだ(株)北海道イエロースターズが所属するバレーボールVリーグ2部の試合に町内バレーボール少年団「リトルポプラ」が招待され、11月4日（土）北ガスアリーナ札幌46で行われた開幕戦を観戦しました。

試合前の練習では、雪中米の文字が印字された練習着を着用され、試合はアイシンティルマーレ（愛知県碧南市）と対戦し、子どもたちが応援バルーンや手をたたきながら応援する中、見事開幕戦勝利を飾りました。試合を観戦した子供たちは、「スパイクやサーブが速くてびっくりした」と大迫力のバレーを楽しんでいました。



体験 共同生活で絆を深めました 沼田っ子の夢応援（合宿通学）

教育委員会が主催する沼田っ子の夢応援事業（合宿通学）を10月18日（水）から21日（土）までの4日間、宿泊交流センター「夢未来」で行いました。

小学5年生8名が参加したこの事業は、施設に泊まりながら、友達との交流を深めたり、沼田町を深く知って地元愛を育むことを目的としています。

3日目の地域の方からの講話では、農業者の岡田和久さんから沼田町の農業についての講話があり、沼田町でどんな野菜が栽培されているかなど、自分で考え積極的に発言しながら講話を受けていました。



沼田小学校学習発表会が開催されました!

10月14日(土)沼田小学校の学習発表会が、昨年と同様に発表を低・中・高学年の3ブロックに分けて開催されました。

今年は「97人の心をつにして学習発表会を盛り上げよう」のテーマのもと、1年生から6年生まで全児童が練習してきた成果を十分に発揮し、見事な歌や踊り、劇などを披露しました。

最後の6年生の劇が終わると、6年生から「各学年練習に励み、光り輝く発表会でした。仲間と一緒に取り組む大切さや学んだことをこれからの学校生活に活かしていきたいです。」と全員で挨拶しました。



1年生 - ダンス道場に道場やぶりが現われ、どんどん仲間が増えていき、最後はクラス全員一つになりダンスを披露しました。



2年生 - さるかに合戦をアレンジした劇で、大きな声で歌いながら元気に、楽しそうに演じていました。



3年生 - ハロウィンの時期に合わせ、おばけのテーマパークを題材とし、ちょっぴり怖いけど、可愛らしさも合わせたダンスを披露しました。



4年生 - SNSでの誹謗中傷などの社会問題をテーマに取り上げ、それぞれが役になり切って演じていました。



5年生 - スーパーマリオの世界観そのままにキャラになりきりおなじみのBGMに合わせ、とても楽しく踊っていました。途中側転のアクションも交え見応え充分のダンスでした。



6年生 - 昔話を詰め込んだ朗読劇から昔話の劇、SF劇、お笑いにダンス、最後は「蜘蛛の糸」を題材にした劇へと変化の連続で観客を劇中に引き込んでいました。

令和5年度 町民芸術祭

町民芸術祭（同実行委員会主催）の芸術発表が、11月3日（金・祝）町民会館で行われました。出演者は、日頃の練習の成果を発揮し、発表が終わると会場からは大きな拍手が起こりました。



▲日本詩吟学院



▲個人発表の部



▲菅原音楽教室



▲飯田音楽教室



▲八重樫音楽教室



▲EOS DANCE STUDIO



▲吟剣詩舞和翔流



▲ウクレレサークル



▲沼田吹ガールズ



▲一般社団法人 N-link.



▲Petit ballet school Lana



▲沼田夜高太鼓



▲歌声サークル

ESSEふるさとグランプリで銀賞を受賞！

女性に人気の生活情報誌「ESSE」（扶桑社）の公式インフルエンサーが選ぶ「ふるさとグランプリ2023」の銘品部門で完熟トマトジュース（食塩無添加）が銀賞を獲得しました。「ふるさとグランプリ」とは、ふるさと納税の返礼品のコンテストで、会場の料亭で「ESSE」公式インフルエンサーが実際に試飲、試食しながら、返礼品の魅力や寄附の使い道などを総合的に評価し、賞が決定されています。

今回エントリーした完熟トマトジュース（食塩無添加）は「フレッシュな酸味で、飲み口がすっきり」「濃厚で美味しい。料理にアレンジしやすい」など高評価を受けました。

今回試食いただいた料亭の料理長が考案した「超冷（ちょうひや）完熟トマトそうめん」のオリジナルレシピは、町公式クックパッドでレシピを掲載しております。また、町の食の研究員（栄養士）が特産品を使用したレシピなどを紹介しておりますので、是非、ご覧ください。



▲町公式クックパッド

全道中学生軟式野球大会出場結果報告

沼田中学校（里舘幹彦校長）3年生の大山凛人さん・塩田禅さんが8月11日（金）～16日（水）に千歳市で開催された第43回全道中学生軟式野球大会に北空知の中学生で編成される北空知選抜の一員として出場し見事優勝し、塩田さんは最優秀選手賞も受賞しました。

大山さんは「一人一人のプレイやチームプレイができて優勝することができました」、塩田さんは「選抜チームで優勝することができて良かった、次は高校野球でも頑張りたい」と話され、横山町長は「来年からは高校球児として甲子園を目指して頑張ってください」と労いました。



全日本少年春季軟式野球大会出場結果報告

沼田中学校（里舘幹彦校長）1年生の松尾奏佑さんが9月16日（土）～18日（日）に石狩市で開催された文部科学大臣杯第15回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSトーナメント北海道少年軟式野球選抜選手権大会に北空知の中学校5校による連合チームの一員として出場し見事優勝し、来年3月23日（土）から静岡県で開催される全国大会に出場することから、10月16日（月）役場を訪れました。

松尾さんは、「優勝できてよかった、全国大会でも活躍し頑張りたい」と話され、横山町長は「優勝おめでとう、これからの練習で少しでもレベルを上げて、全国大会でも活躍してください」と激励しました。





深川警察署

沼田警察庁舎あんぜん広場 ☎ 35-3110



飲酒運転の根絶 「なにで来た？」 乾杯前の 合言葉

1 飲酒運転は悪質な犯罪！

皆さん一人一人が「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」ことを強く意識して、社会全体で飲酒運転を根絶する気運を醸成しましょう。

また、二日酔いでの運転も「飲酒運転」となりますので、飲酒した翌日に運転する場合は、身体にアルコールが残っていないかしっかり確認しましょう。

2 飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象！

飲酒運転は運転者だけではなく、運転者以外の人にも重い処罰があることを知っていますか？

車を運転する恐れのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に同乗した場合は、飲酒運転と同様に処罰の対象になります。

3 「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転を防止！

ハンドルキーパー運動とは、仲間と車で飲食店に行く場合、あらかじめお酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届けることです。

お酒を提供するお店の方は、「お客さんが車で来店していないか」、「車で来店している場合は、ハンドルキーパーは誰なのか」を確認して、飲酒運転を防止しましょう。

4 飲酒運転情報の提供！

北海道警察では、悪質な飲酒運転を根絶するため、「飲酒運転ゼロボックス」によるタイムリーな飲酒運転の情報や飲酒運転根絶に向けたアイデアを受け付けています。

旭川運転免許試験場からのお知らせ

運転免許の更新時講習について、スマートフォンなどでの動画視聴により受講できるオンライン講習のモデル事業を実施しています。

マイナンバーカードをお持ちであること、講習区分が「優良」または「一般」の方であることなど条件がありますので、詳しくは北海道警察ホームページをご覧ください。

問い合わせ先：旭川運転免許試験場 ☎ 0166-50-3110

犯罪の発生状況（令和5年10月末現在）

町内における犯罪件数

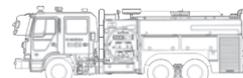
	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和5年	1	4	1	0	1	7
令和4年	1	4	2	0	2	9

交通事故の発生状況（令和5年10月末現在）

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和5年	0	令和5年	40
令和4年	0	令和4年	34

詐欺電話が来たら、「#9110」まで、ご相談ください。



凍結路面での転倒に注意しましょう！

毎年、12月から3月にかけて沼田町内において滑りやすい圧雪・凍結路面で転倒し、救急搬送される事案が発生しております。骨折などの大きなケガに繋がる可能性もありますので、「滑るかもしれない」と意識し、下記のポイントを守り転倒事故を防ぎましょう。

《滑りやすい場所》

- ①人や車の交通量が多い場所
 - ・横断歩道、タイル張りの店内や出入口
- ②重機で除雪後の圧雪路面
 - ・玄関先、施設や店舗の駐車場、歩道
- ③傾斜のある場所
 - ・スロープ、坂道、歩道や道路の傾斜部分



出典：首相官邸ホームページ
「歩行者の雪道での事故」

《転倒事故を予防するポイント》

- ①小さい歩幅で急がず、ゆっくり歩く（足の裏全体をつくように歩くとより有効です）
 - ②携帯電話やスマートフォンに気を取られない
 - ③両手をふさがない
 - ④帽子や手袋を身に付ける（転倒した際、硬い路面の衝撃から、いくらかでも身を守ります）
- ★滑りにくい靴として、携帯用スパイクと言われるゴム製の着脱可能な滑り止め等を積極的に使用し転倒を防止しましょう！

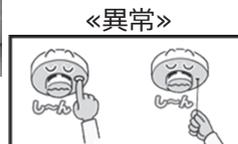
掃除の機会に室内の火災予防対策も実施しよう！

12月を迎えるにあたり、大掃除を検討している方も多いと思います。大掃除は住宅用火災警報器の点検や、普段は動かさない大型家具・家電の裏に目を向ける絶好のチャンスです。大掃除の機会に点検・清掃を実施し火災を未然に防ぎましょう。

①住宅用火災警報器の点検、清掃

- ・ほこりが付着していると火災を感知しにくく、故障の原因となるため清掃をする
- ・電池切れや故障をしていないか確認する

《住宅用火災警報器のほこり》



②配線まわり

- ・冷蔵庫などの長時間差し込まれているコンセント、家具の裏などの見えない場所のコンセントにほこりが溜まっていないか確認し、清掃をする
- ・電気製品のコードが家具などの下敷きになっていると配線の一部が断線し、火災になることがあるので踏みつけられていないか確認する



《プラグのほこり》



《家具の下敷き》

※トラッキング現象・・・コンセントとプラグの隙間にほこりが溜まり、そのほこりが空気中の湿気を吸収することで漏電し発火する現象

沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』



依存症を正しく理解するために

○種類と状況

依存症とは、特定の物質や行為を『やめたくても、やめられない』状態のことで、脳の病気とされています。厚生労働省によると、アルコールや薬物などの『物質的依存』は患者数 12 万人以上とされています。買い物やギャンブルなどの『行為的依存』は患者数 3 千人以上となっており、潜在的依存者が多数いるとされています。



○依存症の特徴

依存症になると、飲酒や薬物使用、ギャンブルなどをほどほどにできなくなるといわれています。つまり、欲求をコントロールできなくなる病気ということです。糖尿病や高血圧のような慢性疾患であり、病気を良くするにはやめ続けることが大切です。

○発症の原因

飲酒や薬物使用、ギャンブルなどの行為を繰り返すことが発症の要因となり、体が欲求を抑えられなくなることが原因といわれています。

依存症が進行すると、食事や入浴などの身の回りのことがおろそかになることや家族との関係が悪化してしまうこと、学校や会社に行けなくなるなど社会生活に悪影響が起こります。その頃には依存症の本人も自分ではやめられない状態になっています。この頃には家族や周りの人からやめるよう言われてもやめられる状態ではありません。

○対処方法

まず大切なことは、依存症は病気であることを理解することです。そして、専門の医療機関やお近くの保健所、精神保健福祉センターに相談し、やめ続けるための正しい方法を学び、アルコールや薬物、ギャンブルなどを行わないことが重要です。

また、治療を受けながら生活を継続するために福祉サービスや「断酒会」などの自助グループを活用し、生活の支援を受けることもやめ続けるための有効な手段となります。依存症は自分ではどうしようもないものであり、周りの人の助けが必要な病気です。

-
- ◆お問合せ先 保健福祉課福祉グループ ☎ 3 5 - 2 1 2 0
北空知障がい者支援センター「あっぷる」 ☎ 2 2 - 1 7 9 8
北海道深川保健所 ☎ 2 2 - 1 4 2 1

知っていますか？勉強にまつわる今と昔

ご家庭でお子さんやお孫さんの勉強を見て、「今はこうなっているのか」とか「昔とずいぶん違うなあ」と思ったことはありませんか？

今回はそんな勉強にまつわる変化をご紹介します。

【変化①】通知表は「絶対評価」

平成14（2002）年ごろから、通知表はそれまでの相対評価から絶対評価に変わっています。例えば相対評価では通知表の1～5で割合が決まっていた。しかし、絶対評価では割合が決まっていないため、極端に言えば全員に5をつけることも可能になりました。

その結果、昔に比べて1をとる子の割合が減り、5をとる子の割合が増えました。
また、3をとる子の成績の幅が広くなり、一概に3だから「普通・真ん中」と言い切れない状況になりました。

【変化②】高校の倍率低下と「大学全入時代」

高校入試の倍率は現在定員割れが多くなっています。昨年度の一般入試倍率は深川東（総合ビジネス:0.6、生産科学:0.2）、深川西（0.7）、滝川（普通:1.1、理数:0.9）となっています。倍率が低いことが意味するのは、簡単に入学できることではなく、入学者内の学力の幅が大きくなっているということです。

つまり、ある高校に入ったら、その先の進路が決まるということはいづらくなり
りました。（各高校のホームページに進路状況が載っていますので、ご覧下さい。）

さらに「大学全入時代」（総進学希望者数＜総定員数）という言葉も取りざたされています。単に学歴として「大学に入ること」の意義は失われつつあります。

【変化③】教育は「個」の時代へ

昔は1クラスにたくさんの生徒がいて、賑やかなものでしたが、少子化の影響もあり、1学級あたりの定員は減少傾向にあります。しかし、ニュースで報じられているように教員不足が問題になっています。

また同時に「個」や「多様性」の重視から、「個人の理解」により高い関心が向けられていると言えます。これからの教育はどうなっていくのでしょうか？

【大事なのは最新の情報にアンテナを張ること】

勉強や教育を取り巻く状況は日々変化していています。保護者の皆さんはその情報に敏感になる必要があります。AIやロボットの台頭、定年制度や終身雇用制度の見直しを始めとした社会情勢の変化も勉強や教育の持つ意味合いに深く影響しています。この機会に一度ご家庭でお子さんの勉強や進路について話し合ってみてはいかがでしょうか。



お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課（電話35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



『絶滅した動物化石などを 展示しました』

沼田町図書館では10月26日～11月13日まで、読書週間事業として『わけあって絶滅しました。～沼田で見れるすごいヤツ～』展を開催しました。

図書館の蔵書でもある『わけあって絶滅しました。(著者：丸山貴史、監修：今泉忠明、出版社：ダイヤモンド社)』に掲載されている絶滅した生き物の化石やレプリカなどを展示し、本と一緒に楽しんでもらおうということで企画しました。

今回の展示では、化石館から化石やレプリカ、郷土資料館から動物の剥製をお借りしました。化石館で一度も展示したことのないゾウの頭部のレプリカや、沼田高校で所蔵していたという農耕馬の頭部の骨など普段見ることができないものを見ていただける機会となりました。

なぜ今回のような展示を行ったかということ、本だけを展示するより、本と実物を並べることで興味のある方以外にも本を手にとってもらいやすくなるからです。図書館では今後も様々な機会をつくりたいと思っています。今回の展示は終了しましたが、また楽しい展示を企画しますのでぜひ楽しみにしてください。



新刊図書

《一般書》

リスペクト	ブレイディみかこ
水車小屋のネネ	津村 記久子
可燃物	米澤 穂信
私たちの世代は	瀬尾 まいこ
亀甲獣骨	山本 一カ
イクサガミ 地	今村 翔吾
老いては「好き」にしたがえ!	片岡鶴太郎

《児童書》

マルゲリータのまるちゃん	井上 林子
おおきいのちいさいの	ふくだじゅんこ
めをさませ	五味 太郎
雲の超図鑑	荒木 健太郎
すごすぎる地理の図鑑	日本地理学会
幻獣最強王図鑑	健部 伸明

新刊図書おすすめ!!



『カモナマイハウス』

著者：重松 清

出版社：中央公論新社

不動産会社で空き家のメンテナンス業に携わる孝夫。両親の介護を終えた妻の美沙は、マダム・みちるのお茶会で介護口スから脱しつつあった。アルバイトを掛け持ちしながら役者を続ける息子のケンゾーは怪我をして実家に戻ってきていた。

ある日、美沙の実家が、空間リノベーターの空き家再生プロジェクトの物件の標的となって……。

空き家をめぐる、家族の物語。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php



町内各会場で同時開催

秋のにぎわい産業まつり

沼田町商工会、沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会、沼田町の共催による、「秋のにぎわい産業まつり」が10月15日（日）開催されました。

JR石狩沼田駅で開催された「沼ルシェ」を皮切りに本通3丁目特設会場では、町内各商店による野菜などの販売、抽選会などが行われた「まちなかにぎわいた市」、まちなかほっとタウン会場では、新米のすくい取りや塩むすび実演&プレゼントやトマト縁日などが行われた「農業収穫祭」、とむとむ広場では、放水体験などができる「ちびっこ広場」が開催されました。

また、大道芸パフォーマンスも開催され、どの会場も大盛況で町内外から来場された方々は、たくさんの買い物袋を持ち帰りました。



完熟トマトジュースが「ヘルシー Do」食品として認定されました。

完熟トマトジュース食塩無添加（190g缶）に含まれる「GABA（γ-アミノ酪酸）」が機能性素材としての効果が認められ、北海道食品機能性表示制度「ヘルシー Do（ドウ）」の認定となりました。

「ヘルシー Do」とは、健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われた機能性素材を含む食品として、北海道ブランドの更なる価値向上を目指す北海道独自の認証制度です。

コーミ北のほたるファクトリー(株)では、今後もおいしさだけでなく GABA も豊富な健康づくりに役立つ完熟トマトジュースを製造してまいりますので、是非おいしさと栄養にこだわったトマトジュースをご賞味ください。



人の動き

(令和5年10月31日現在)

人口 2,843人 (前月比 △3人)
 男性 1,364人 (前月比 0人)
 女性 1,479人 (前月比 △3人)
 世帯数 1,442世帯 (前月比△3世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入： 9人 出生： 3人
 減少) 転出： 11人 死亡： 4人

交通事故死ゼロ

(令和5年10月31日現在)

4,132日継続中!!

移住定住情報公式サイト

沼田町の定住奨励制度や暮らしの情報が満載です。



ぬまわーくサポートデスク

沼田町では求職者と求人者をつなぐために、無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」を開設しています。



込山 氏
 章夫 さん 名
 10月22日 死亡月日
 76歳 年齢
 共 住
 成 所

おくやみ